

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部

第6回会合 総理発言

安倍政権は、かつてないスピードで変化する世界から「誰一人取り残さない」社会を実現すべく、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献します。

キーワードは、「豊かで活力のある未来に向けた国づくり」、「子や孫の世代に誇れる日本」、そして「国際社会をリードする日本」です。

第一に、「豊かで活力のある未来に向けた国づくり」を進めます。SDGs推進の流れを大企業から中小企業にも広げ、全国にSDGsの活力を行きわたらせます。

最新の科学技術イノベーションを活用し、スマート農林水産業による地域の活性化や、海洋プラスチックごみ対策等を通じた循環型社会の構築につなげていきます。

本年見られたような気候変動により激甚化する災害に対応するため、持続可能で強靱な国づくりに全力を尽くします。

第二に、人生百年時代に向け、「子や孫の世代に誇れる日本」を作るべく、未来を担う子供たちや女性に大胆に投資します。3月に国際女性会議とW20を同時に開催し、「女性が輝く社会」の実現に向けた取組を世界に訴えます。

次世代の声と力を活かすべく、学生や若い社会人を中心とした「次世代のSDGs推進プラットフォーム」を立ち上げます。

第三に、「国際社会をリードする日本」を世界に発信します。来年は、G20やTICADがあります。

世界の注目が日本に集まるこうした機会を通じ、SDGsの力強い担い手たる日本の姿を国際社会に示していきます。

G20やTICADを通じ、質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみ対策、気候変動等の取組をリードします。「人間の安全保障」や「人づくり」の基礎となる女性、保健、教育を重視します。

これらの成果を、来年9月の国連総会の際に開催されるSDGs首脳級会合において、G20議長として国際社会に対して発信します。

以上を踏まえ、関係閣僚においては、日本のリーダーシップを示すべく、G20の直前となる次回SDGs推進本部会合に向けて、具体的な取組の推進・強化をお願いします。

以上